

公開シンポジウム

大変革時代に未来を探る 数理学の展開と深化

第3部数理学委員会では、数学と他の科学分野や産業との連携の基盤整備に向けて議論してきた。社会や産業の構造が大きく変わろうとしている今日、データ等からは単純な構造が見いだせないような複雑な現象の中に、何らかの数学的構造を見いだすことで現象の解明が出来るのではないかという考えから、数理学への大きな期待がよせられている。数理学の分野の中には応用を意識して生まれたものも多いが、それらの分野においても、基礎となる数学は応用を意識せず自然たる知的好奇心から生まれたものであることが少なくない。これが数理学の汎用的な力を生み出す源泉ともなっている。本公開シンポジウムでは、現代そして未来の社会に必要とされる数理学の新たな展開と深化について考えたい。

2017
3/21 火 日本学術会議講堂
東京都港区六本木7-22-34
アクセス：東京メトロ千代田線「乃木坂」駅 第5番出口

プログラム | 13:00 ~ 17:30

13:00

開会の挨拶/趣旨説明(提言「数理学と他の科学分野や産業との連携の基盤整備に向けた提言」の報告)

坪井 俊(日本学術会議会員、数学分科委員長、東京大学教授)

13:15

総論 板倉 康洋(文部科学省大臣官房審議官(研究振興部担当))

13:20 ~ 13:45

講演「数理学とイノベーションの相性を探る」

原山 優子(総合科学技術・イノベーション会議議員)

13:50 ~ 14:15

講演「データを社会変革につなげる数学の力」

江村 克己(日本電気株式会社 取締役 執行役員常務 兼 CTO)

14:20 ~ 14:45

講演「数理・情報・計算が拓く新しい科学技術」

松本 洋一郎(日本学術会議会員、理化学研究所理事)

14:50 ~ 15:20

講演「数学は未来社会のコンシェルジュ」

西浦 康政(東北大学量子分子材料科学高等研究機構教授)

15:50 ~ 17:20

パネルディスカッション「イノベーションの触媒としての数理学」

司会：小谷 元子(会員、数学分科委員、東北大学教授)

パネリスト：

前田 吉昭(日本学術会議連携会員、数学分科委員、東北大学知の創出センター特任教授)

高田 章(日本学術会議連携会員、数学分科委員、旭硝子株式会社中央研究所特任研究員)

原山 優子(総合科学技術・イノベーション会議議員)

江村 克己(日本電気株式会社 取締役 執行役員常務 兼 CTO)

松本 洋一郎(日本学術会議会員、理化学研究所理事)

西浦 康政(東北大学量子分子材料科学高等研究機構教授)

17:20

閉会の挨拶 小谷 元子

連絡先：坪井 俊(第3部数理学委員会委員長)

東京大学大学院数理学研究科(〒153-8914 東京都目黒区駒場3-8-1)

tsuboi@ms.u-tokyo.ac.jp